令和８年１１月１１日

公益財団法人伊勢文化会議所

代表理事　濱田典保

三重県グリーンボンドへの投資について

公益財団法人伊勢文化会議所（代表理事 濱田典保、以下「当財団」という）は、このたび、令和８年１０月に三重県が発行するグリーンボンド（三重県令和８年第１回公募公債（グリーンボンド）、以下「本債券」という）に投資したことをお知らせします。

グリーンボンドは、企業や地方公共団体等が、環境改善効果のある事業や環境保全のための事業等（いわゆるグリーンプロジェクト）に要する資金を調達するために発行する債券です。

本債券の発行にあたって、三重県は「みえグリーンボンドフレームワーク」を策定し、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）によるグリーンボンド原則２０２１及び環境省グリーンボンドガイドライン２０２２年版への適合性について、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から最上位評価となる Green １(F)の外部評価（セカンドオピニオン）を取得しています。

本債券による調達資金は、「みえグリーンボンドフレームワーク」内における地球温暖化の緩和策として、温室効果ガスの排出削減・吸収源対策を目的とした事業、また適応策として、気候変動による影響の軽減対策・自然災害の防止対策を目的とした事業に充当されます。

引き続き、当財団は、ESG 投資を通じて環境問題や社会問題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現に向けて、社会的責任を果たしていきます。

以上